

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第1部門第2区分
【発行日】平成31年4月18日(2019.4.18)

【公開番号】特開2017-140318(P2017-140318A)
【公開日】平成29年8月17日(2017.8.17)
【年通号数】公開・登録公報2017-031
【出願番号】特願2016-25322(P2016-25322)
【国際特許分類】

A 4 5 D 40/00 (2006.01)

【F I】

A 4 5 D 40/00 H

【手続補正書】

【提出日】平成31年3月4日(2019.3.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0043

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0043】

段面222と端面33とが近づくと、カム面332と従動面224とが接触する(図5のイ参照)。そして、本体磁石23と蓋体磁石34との互いに引き合う力が強くなり、カム面332が従動面224上を滑らかに摺動する(図5のロ参照)。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0045

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0045】

カム面332と従動面224とが一致するまで摺動すると、凸部223と凹部331とが磁石セットの引き合う磁力により引き寄せられて係合する(図5のハ参照)。このとき、蓋体3を回転する手指の感触としては、回転する力をアシストするというよりも、その力を超えて自動的に嵌着位置に引き寄せられるという感じを受ける。こうして本体磁石23と蓋体磁石34とが磁着し、蓋体3は、本体2に対して所望の嵌着位置で位置決めされる。磁石セットにより嵌着状態が保持される。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0046

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0046】

再び、蓋体3を本体2から離間させるべく本体2に対して蓋体3を回転軸AXの回りに相対的に回転させると、磁力に抗して、従動面224がカム面332上を摺動し(図5のニ参照)、前述のカム機構の作用により、蓋体3を回転軸AXの回りに相対的に回転させる力が、本体2および蓋体3が互いに離間する回転軸AX方向の力に変換され、従動面224がカム面332を乗り上げて、本体2および蓋体3が互いに離間する。

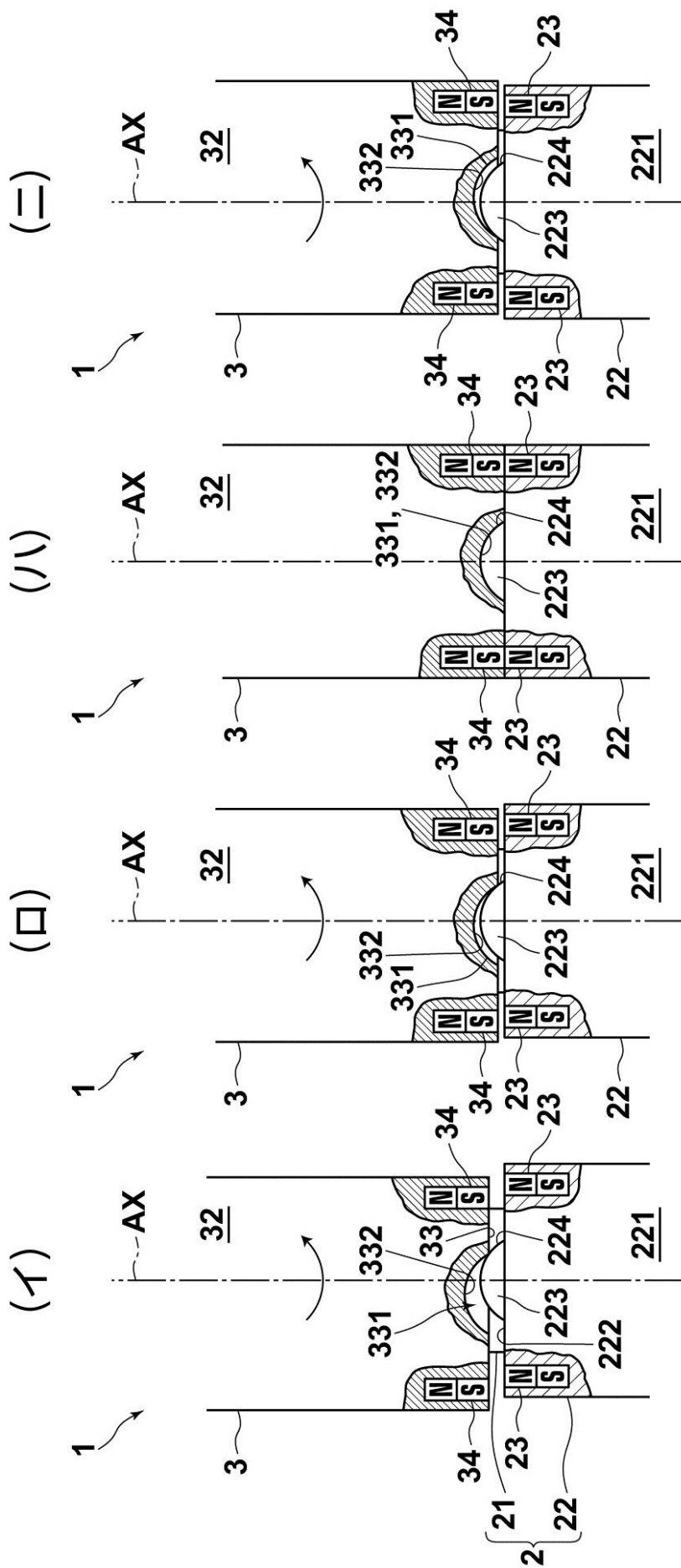
【手続補正4】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図5

【補正方法】変更

【補正の内容】



【手続補正 5】

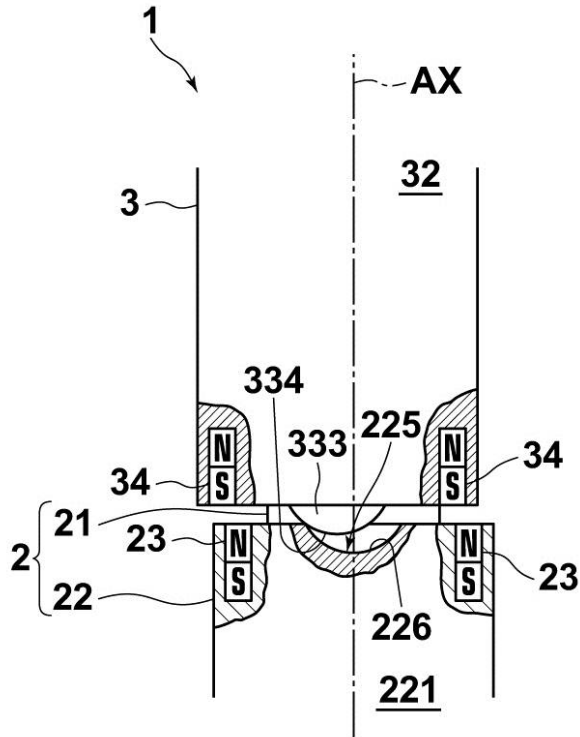
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 6】



【手続補正 6】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 図 7 】

